

平成29年11月定例教育委員会会議録

○日 時 平成29年11月24日（水） 午後3時～3時43分

○場 所 櫛引庁舎 3階 教育委員室

○出席委員 教育長 加藤 忍
1番 田中 芳昭（教育長職務代理者）
2番 佐竹 美津子
3番 毛呂 光一
4番 齋藤 美緒

○欠席委員 なし

出席議事説明職員氏名

教育部長	石 塚 健	管理課長	本 間 明
学区再編対策室長	佐 藤 嘉 男	学校教育課長	尾 形 圭一郎
社会教育課長	鈴 木 晃	中央公民館長	前 森 淳 子
藤沢周平記念館長	三 浦 眞 紀	スポーツ課長	秋 葉 敏 郎
図書館長	松 浦 幸 子	学校給食センター所長	太 田 功

出席事務局職員氏名 管理課庶務係長 石川聡

会議次第

1. 開会
2. 協議

教委第1号 委員の議席の決定について

教委第2号 教育長職務代理者の指名について

3. 市民憲章唱和

4. 会議録署名委員の指名

5. 議事

日程第1 議第21号 市議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出について（非公開）

6. 報告事項

（1）指定管理者の指定について（鶴岡市櫛引生涯学習センター）

（2）その他

7. 閉会

開 会（午後3時）

- 教育長 会議開会前にご報告申し上げます。皆様ご存じのとおり、新教育委員について、先の11月市議会臨時会で議会同意をいただき、11月12日付けで教育委員に齋藤美緒委員が就任され、田中芳昭委員も再任されたので、ご報告申し上げます。それでは、齋藤委員よりご挨拶をお願いします。
（齋藤委員挨拶）
- 教育長 次に、再任ということで田中委員からもご挨拶をお願いします。
（田中委員挨拶）
- 教育長 次に、本日出席の皆さんにも自己紹介をお願いします。
（各委員、各管理職挨拶）
- 教育長 では、ただ今から11月の定例教育委員会を開会する。
始めに、教委第1号委員の議席の決定についてお諮りする。
再任された委員の席次は、これまでと同様の議席とし、委員の交代に伴う新教育委員の席次は、前任者の議席としてよろしいか。
- 各委員 異議なし。
- 教育長 それでは、田中委員の議席を1番、齋藤委員の議席を4番とする。
今後、この議席で委員会を進めていくが、会議の場にとどまらず、委員会運営上の様々な面でこの議席順を適用していくのでよろしくをお願いします。
次に、教委第2号教育長職務代理者の指名についてお諮りする。
教育長職務代理者については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条に規定があり、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、あらかじめ教育長が指名する委員がその職務を行うとされている。については、教育長職務代理者に引き続き田中委員を指名させていただく。
（了承）
- 田中委員 今後とも、よろしくお願い申し上げます。それでは、市民憲章唱和を行う。
教育長 （藤沢周平記念館長が先唱し、市民憲章唱和）
本日の会議録署名委員は、3番委員をお願いします。
本日の議事について、議第21号は議会に上程される前の議題のため、非公開とすることにご異議ないか。
- 教育委員 異議なし。
- 教育長 異議なしと認め、議第21号は非公開とさせていただく。
（会議録は別記録とする）
- 教育長 予定された議事は以上である。次に報告事項に入る。指定管理者の指定

について（鶴岡市櫛引生涯学習センター）について、事務局より説明をお願いする。

社会教育課長

報告事項として、指定管理者の指定について（鶴岡市櫛引生涯学習センター）についてご報告申し上げます。

教育委員会の補助執行施設であることから、市議会には市長部局から提案する案件となる。

鶴岡市櫛引生涯学習センターは、施設の管理運営を地域の団体が行うことにより、多様な地域課題に向き合うための学びや事業が実施され、地域活動がより活発となることが期待できることから、指定管理者による管理運営に移行するため、9月の市議会定例会において同センター設置及び管理条例に係る所要の改正を議決いただいたところである。

当該センターは、市民の文化活動、スポーツ及びレクリエーションの利用に供し、さらに生涯学習の場と機会を提供することにより文化の向上、福祉と健康の増進、生涯学習の推進を図ることを目的とする生涯学習施設である。

指定管理者の指定にあたっては、この設置目的を効果的に達成できる団体を選定する必要がある。今年8月に櫛引地域に設立された櫛引地域生涯学習振興会は、当該センターを最も利用する櫛引地域内の住民自治組織と社会教育団体等で組織されており、地域における生涯学習の普及と推進を図り、明るく活気のある住みよい地域づくりに寄与することを目的としている。

これまで、櫛引公民館で行ってきた生涯学習事業も指定管理者が行うこととなるが、櫛引地域生涯学習振興会は、地域課題や地域の特性を把握し、理解している住民組織等によって組織されており、活動拠点である当該センターの管理運営に関わりながら、構成団体がそれぞれ蓄積してきた実践的な手法やアイデアを活かしながら、設置目的に沿った事業を効果的に展開できるものである。

以上のことから、櫛引地域生涯学習振興会が指定管理者として、鶴岡市櫛引生涯学習センターの管理運営を最も効果的に達成できるものと判断し、公募によることなく選定することとしたものである。

選定の経過については、11月1日の鶴岡市指定管理者選定委員会において、櫛引地域生涯学習振興会の経営方針、施設の管理計画、事業計画、収支計画等について審査を行い、当該団体を指定管理者の候補者として適当であると判断され、選定されたことから、鶴岡市櫛引生涯学習センターの指定管理者として、櫛引地域生涯学習振興会を指定しようとするものである。

なお、指定期間については、平成30年4月1日から平成33年3月31日までの3年間とするものである。

教育長

この件について、質問はないか。次に藤沢周平生誕90年特別企画展について、事務局より説明をお願いします。

藤沢周平記念館長

12月1日から開催する「藤沢周平生誕90年特別企画展『半生の記』をたどる」について、ご案内とご来館、ご利用のお願いを申し上げます。

お手元に資料として、企画展の案内チラシを配布させていただいたが、藤沢周平さんは、昭和2年12月26日生まれであり、この12月で丁度生誕90年を迎える。また没後20年と重なった今年は大きな節目の年となっている。

この度、皆様にご案内させていただく企画展では、藤沢さんの自伝的なエッセイ「半生の記」という本があるが、そちらを主軸に故郷や生い立ち、作家としてデビューするまでの歩みをご紹介します。また、子どもの頃に触れた豊かな自然や人生に深く関わった人々との出会い、少年期や青年期の読書、文芸活動等に光を当てることで、作家藤沢周平の原点に迫るものである。

展示の見どころとしては、藤沢周平を形作っていった人々との交わり、子どもの頃に夢中で読んでいた本、師範学校時代に映画館に通い詰めて見たたくさんの映画やその頃に乱読していた本の紹介、湯田川中学校に勤務していた頃に教え子の皆さんのために製作した放送劇の台本などがある。

作家藤沢周平を育んだ故郷鶴岡の豊かな自然や、現在の学校制度における小学校、中学校の頃に近い世代の読書活動の軌跡といった内容は、作品を取り上げた際の企画展とは異なる魅力を感じていただけるものと思っています。改めて郷土の歴史や文化に触れる良い機会にもなると思われるので、是非ご来館いただきたく、ご案内申し上げます。

なお、ご来館の際は、藤沢周平氏並びに記念館について、職員による概要説明なども対応させていただくので、いつでもお申し付けいただきたい。

教育長

この件について、質問はないか。

2番委員

開館以来、現在に至るまでの藤沢周平記念館の利用状況を伺いたい。

藤沢周平記念館長

平成22年に藤沢周平記念館が開館した時は、年間およそ10万人近いお客様より来ていただいた。その後、震災などの影響もあって年々少しずつ減ってきており、昨年度までは、対前年比で85%くらいの推移を示していた。

今年は大きな節目の年ということもあり、春先からは対前年比130%で少し上向きになっている。ただ、先月末の集計では、夏に落ち込んだところがあつたため、113%から114%くらいだったと思う。

北海道新幹線の開通や、金沢への北陸新幹線の開通など、様々な要因が重なって、ファンの方も観光客も全国に散らばっていた時期があり、暦年少しずつ落ちてきていた分もあるので、単純に喜んで良いのかは分からないが、段々と落ち着いてきたのかなと思われる。

今年は少し増えてきているという実感があるのは、全国の皆さんが落ち着いて、行先を求めて来てくださったのかなと考えているところである。

社会教育課長

社会教育課で管理している大宝館、致道館も、去年は同じ割合で減っていたが、今年は同じ割合で増えていることから、藤沢周平記念館長からもお話をさせていただいたとおり、全国的な観光の動向が、少し変わってきたのではと思われる。特徴的なのが、去年、一昨年あたりまで主力で来ていた、JRの大人の休日クラブという50歳以上を対象とした4日間乗り放題の制度の利用者が、去年はさっぱり来ていなかった。他の所に流れていたと考えられ、藤沢周平記念館に限らず、市街地観光が落ち込んでいたが、今年はその人たちが多く来ており、少し上向いているところがある。

教育長

これから致道博物館の旧警察署であるとか、来年度は大宝館も少しずつ、外側だけでなく中身もリニューアルを検討していきたいと考えている。

また、タクトも3月からグランドオープンするので、市内観光への誘客を少しずつ活発にできるのではと思っている。

2番委員

旧警察署の建物は青くなったが、大宝館も青くなるのか。

社会教育課長

来年の大規模改修により、壁を塗り替えたり、部材を取り替えたり、屋根を改修したりするが、壁の色は白のようである。

2番委員

車で通りかかると、観光客の方々が藤沢周平記念館に向かう姿をよく目にするので、引き続き頑張してほしい。

教育長

その他、報告事項はあるか。

図書館長

図書館事業のチラシと参加募集の募集要項を配布させていただいた。

その中の黄色いチラシであるが、今回初めて、鶴岡南高校山添校の図書委員の皆さんと一緒に、子ども達がクリスマスカードを作ろうということで企画している。以前より山添校の皆さんの活動の紹介等をさせていただいていたが、今回は絵本の読み聞かせとともに、子ども達と一緒にクリスマスカードを作ろうということで、企画させていただいた。

また、11月30日から12月3日までアートフォーラムで読書感想画の展示を行う。日曜日には表彰式もある。ぜひ感想画展にお立ち寄りいただき、子どもたちの力作を見ていただきたい。

その他に、上野甚作賞の短歌募集を1月5日まで行っている。庄内にお住まいの方であればどなたでも応募いただけるので、皆様に広報をお願いしたい。子どもたちにも沢山応募いただいております、文芸活動の一つとして、

長年行っているものであるので、よろしくお願ひしたい。

教育長

その他、報告事項はあるか。

スポーツ課長

明日土曜日と日曜日、Vプレミアリーグ女子鶴岡大会が小真木原で行われ、4年ぶりの開催となっている。

明日1時から上尾対久光製薬、その後、日立対東レ。明後日も1時から上尾対東レと久光製薬対日立の試合が開催される。チケットの販売は上々とのことだが、まだ席があるので、ご興味があればよろしくお願ひする。A席は大人3,000円、B席は大人2,000円で、お得な親子券もあるので、よろしくお願ひ申し上げます。

教育長

その他、報告事項はないか。ないようなので、これをもって11月の定例教育委員会を終了とする。

閉 会 (午後3時43分)